

数学月間の話

SGK/数学月間の会

片瀬 豊

日本数学協会は2005年に7月22日～8月22日を数学月間とすることを提唱した。米国では1986年のレーガン宣言でMath.Awareness Month(MAM)が始まった。数学月間は、数学への共感興味の高揚、数学教育の社会的意義の再確認を狙う。そもそも何々の日、何々月間と云うのは、その業界の社会的求心力を上げるために制定される社会運動の政治的手法である。

米国では各階層・各分野の数学力・学習意欲の低下が憂慮され、全国的な運動として展開されている。情報化時代を支え、社会と経済の進歩にとって数学が益々重要であるとして数学への興味・理解・評価を高める事を狙っている。毎年テーマが決められ、数学研究の先端にあると同時に応用的にも広く関心を持たれそうなトピックを選んで啓蒙運動をしている。

昨今我が国においても理数ばなれが言挙げされ、学生の数学力、計算力、論理思考力が懸念されている。社会と数学の親和力拡充が求められるわけである。

数学系、非数学系を問わず、理科系、文科系と云わず、数学の社会性、普及共感を想起する運動へのご理解ご協力をお願いする次第です。

数学月間に期待する課題

A 数学と諸科学との連携強化

数学と科学研究の方向づけ

横幹連合と協力・連携

B 数学的概念・手法の活用・普及

数学の社会人向け講座

社会の各種業界、行政改革のTQM

C 各階層、各地域、各方面の数学力向上

日常生活に役立つ数学、数学展示会、夏期講習会

入試システムの改革 珠算大会、出前授業拡充

文科系の数学親和力

SGK／数学月間行事の分類／記号

A. 数学と基礎科学／KI

* 2007(H19)7/30 SGK 懇談会：東大駒場

* 2008(H20)7/22 SGK 懇話会：東大駒場

B. 数学と生命科学／SE

* 2008(H20)8/4 SGK 講演会：上智大学

感染症・遺伝子・数理脳科学・情報幾何

C. 数学と社会科学／SH

* 2006(H18)8/11 SGK 講演会：上智大学

保険・年金・投票

* 2007(H19)8/6 SGK 政治懇談会：議員会館

行財政改革とTQM

D. 数学の教育再生／KY

* 2006(H18)8/5～ リスーピア：松下

展示・体験コーナー

* 2007(H19)3月 日常生活教材作成委員会

文科省のHP

* 2008(H20)5/25 SGK 通信 2008-7

珠算と脳